



2025 年 9 月 24 日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目 1 番 28 号
日本通信株式会社
代表取締役社長兼 CEO 福田 尚久
(コード番号 : 9424)
問合せ先 執行役員 CFO 小平 充
電話 03-5776-1700

日本通信、FPoS を活用した NFC タッチ決済の実証実験を実施 ～高額決済においても実用レベルの処理速度を確認～

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、FPoS について、NFC タッチ認証に対応するための技術開発を進めております。このたび、2025 年 9 月 17 日に、JINS PARK 前橋内の店舗（JINS およびエブリパン）にて、FPoS を活用した NFC タッチ決済の実証実験を実施いたしましたので、お知らせいたします。

今回の実証実験は、FPoS を活用した NFC タッチ決済の商用化に向けた重要なマイルストーンとなるものです。

背景

FPoS は、お客様のスマートフォン（iPhone および Android）（以下、「スマートフォン」といいます）において、以下の方法で認証を行う仕組みです。

- 1) スマートフォンに FPoS を搭載する際に、お客様のマイナンバーカードの IC チップに搭載されている秘密鍵と電子証明書によってお客様の身元確認を行い（公的個人認証サービス：JPKI）、
- 2) 電子署名法に基づく認定を受けた電子認証局が、スマートフォンに内蔵されている安全な領域（セキュアエレメント）内で秘密鍵を生成するとともに電子証明書を発行し、
- 3) 電子証明書に記録された公開鍵と秘密鍵の組み合わせにより、お客様の本人認証（本人に間違いないこと）を行うとともに、真正性（お客様の意思が改ざんされていないこと）を担保します。

FPoS による確実な身元確認と本人認証を最大限に活用しているのが、群馬県前橋市の電子地域通貨「めぶく Pay」です。現在、「めぶく Pay」では、FPoS を活用して安全に利用できる QR コード決済サービスを提供しておりますが、今後は、さらに利便性の高い NFC タッチ決済サービスの実現を目指しています。

ただ、NFC タッチ決済には、大きく 2 つの課題があります。1 つは、多くの NFC タッチ決済において、おそらくはセキュリティ上の理由から、1 万円～2 万円程度の上限が設定されており、これを超える取引は通常のクレジットカード決済に切り替える必要があることです。NFC タッチ決済で、上記の上限金額を超える高額決済（別途規制を考慮する可能性はありますが、例えば 1,000 万円規模の決済）に対応するには、十分なセキュリ

ティ技術を実装することが求められます。

もう1つは、街中の小規模店舗が NFC タッチ決済に対応するには、NFC タッチ決済に対応するための決済端末を導入するなどの一定の投資が必要となるため、十分に普及していないことです。

このような背景のもと、当社は、高額決済に対応することができ、かつ、小規模店舗も大規模店舗も導入しやすい NFC タッチ決済を目指し、NFC 通信を介してお客様と店舗が電子証明書を受け渡し、決済サーバーを通じて FPoS 認証サーバーで署名検証を行う、確実な認証・決済の仕組みの実現に取り組んでまいりました。

実証実験の概要と成果

今回の実証実験では、Android スマートフォンを使用し、実際の店舗での購買行動において、NFC タッチ決済による一連の処理（スマートフォン・店舗端末・決済サーバー・FPoS 認証サーバーの往復）についてお客様が体感する速度を確認するため、JINS PARK 前橋およびエブリパン、めぶくグラウンド株式会社、フェリカネットワークス株式会社にご協力をいただき、JINS PARK 前橋内の店舗（JINS およびエブリパン）において、群馬県前橋市の電子地域通貨「めぶく Pay」の QR コード決済を実験用の NFC 決済に置き換え、FPoS を活用した NFC タッチ決済で商品を購入していただきました。

その結果、少額決済（スマートフォンのタッチ操作のみで完結）のみならず、高額決済（FPoS 認証サーバーで署名検証を実施）においても、お客様および店舗のいずれの立場から、決済処理の速度が実用に耐えられるとの評価をいただくことができ、十分に実用可能であることが確認されました。

株式会社ジズホールディングス 常務執行役員 松田 真一郎氏のコメント

「FPoS ライブラリが NFC に対応することで、小規模店舗においてはスマートフォンのみでタッチ決済を実現でき、大規模店舗においても POS システムとの連携を最小限の改修で可能にすることができます。JINS は、このような取り組みに積極的に協力しながら、ご来店いただくお客様の体験価値を一層高めるとともに、地域経済の発展に寄与してまいりたいと考えております。」

Androidスマホ同士のNFCタッチで決済 (実証実験)



今後の展望

当社は、次の段階では、POS レジの NFC 読み取り端末における動作確認および検証を重ね、商用化に向けた開発を進めてまいります。商用化にあたっては、FPoS ライブラリ（デジタル認証モジュール）に NFC 機能を実装する予定です。

当社は今後も、安全・安心にビットを運ぶことを使命とし、サービス・製品を通じて社会に貢献し、持続可能なデジタル社会の構築と企業価値の向上を目指してまいります。

■日本通信について

日本通信株式会社は、1996 年の創業以来、通信業界に革新をもたらし、MVNO 市場を切り拓いてきたパイオニアです。シンプルで合理的なモバイル通信サービスを中心に事業を展開し、安定した収益モデルを確立しつつ、さらなる成長を目指しています。特許技術を活用した無線専用線「閉域 SIM 間通信」やデジタル認証技術「FPoS」を強みとし、認証技術をコアにモバイル通信サービス及びデジタル認証基盤の提供にも注力しています。国際セキュリティ基準 PCI DSS 認定を取得したモバイル専用線は警察や銀行などの厳しい分野で採用。FPoS は世界最高水準のセキュリティと利便性を両立しています。「安全・安心にビットを運ぶ」というミッションのもと、国境を越えた安全なモバイル環境の社会インフラ構築を目指し、持続可能な成長と企業価値の向上に取り組んでいます。